



# CHIE KANAI EXHIBITION

## 金井千絵水彩画展

### —すべてが大切な瞬間—

2015年10月15日(木)～20日(火) AM11:00～PM7:00 (最終日はPM4:00まで)

## 金井千絵



熱海市に生まれ育つ。  
 父親の家業が看板絵描きだった影響で、早くから絵画制作に憧れを抱く。  
 中央工学校建築設計科女子部卒業

1995年から独学で水彩を学ぶ。  
 2000年、月刊「詩とメルヘン」(サンリオ刊、やなせたかし責任編集)主催のイラストコンクールで「最優秀作品賞」受賞。  
 2003年の前半まで同誌のレギュラー・イラストレーターとして活動(同誌の休刊に伴い、中断)。  
 2002年、アイルランド取材旅行後アイルランドの様々な風景を描く。  
 2004年、ドイツ・ロマン派の風景画家カスパー・ダヴィッド・フリードリヒに惹かれ、彼が活躍した北東ドイツを取材旅行。以後、北ドイツの風景を描く。  
 北ドイツの旅行の過程で作家ヘルマン・ヘッセの作品と生涯に関心を持ち、2005年に西南ドイツからスイスにかけて取材旅行。その後、作品を制作。  
 2009年から日本の風景を描き始める。尾道、奈良、京都、千葉など。

今回は、千葉県にお住まいの金井千絵さんによる水彩画の展覧会です。会場には、熱海や埼玉などを中心とした日本の風景と、ヨーロッパの海外の風景を描いた作品の他、ポストカードやカレンダーなどの小品も並びました。

現地で描いたスケッチを元に制作された作品は、金井さんがその場その場で感じた空気感そのままにこちらに伝わってくるような、その土地の風や温度など様々なものを感じることが出来ます。

一般的に水彩画という短時間でさっと仕上げるイメージがありますが、金井さんの作品は透明水彩を丁寧に塗り重ねられることによって描かれるため、他にはない空間の奥ゆきや深みが見事に表現されています。

作品全体からは、穏やかで優しい雰囲気を感じられ、見ていとも心地良く、やさしい気持ちになれる、そんな素敵な展覧会でした。